

岡山商科大学任期制教員に関する規程

(2021年5月28日 制定)

改正 2021年10月 6日 2022年11月 7日

(目的)

第1条 この規程は、大学の教員等の任期に関する法律（平成9年法律第82号。以下「大学教員任期法」という。）に基づき、任期を定めて雇用する常勤教員（以下「任期制教員」という。）に関し必要な事項を定める。任期制教員の就業については、この規程に定めるもののほか、岡山商科大学就業規則に基づく諸規定を準用する。

(任用組織等)

第2条 大学教員任期法第4条第1項により任期制教員を任用できる教員の組織、職名、任期に関する事項は、別表1のとおりとする。

(公募)

第2条の2 任期制教員の任用は、公募により行う。

(給与)

第3条 任期制教員の給与は、岡山商科大学教職員給与規程により決定する。

(同意)

第4条 この規程により任期を定めて任用しようとするときは、同意書（様式第1号）により、当該任用される者の同意を得るものとする。

(任期の定めのない雇用への転換の申出)

第5条 任期制教員が、任期の定めのない雇用への転換を希望する場合は、原則として任期が満了となる日の1年前の日までに、「任期の定めのない雇用への転換希望申出書」（様式第2号）により、所属学部長に申し出るものとする。

2 所属学部長は、転換希望の申出があった時は、学長に報告しなければならない。

(転換審査)

第6条 学長は、前項の報告を受けたときは、人事委員会を開催し任期の定めのない雇用への転換審査を行うこととし、岡山商科大学学部教員資格審査委員会（以下「資格審査委員会」という。）に審査を行わせる。

2 資格審査委員会は、転換希望の申出を行った教員（転換希望教員）について、提出された業績調書（様式第3号）に基づき、次の評価項目ごとに、在職中の業務実績や勤務

状況を評価し、転換の可否の審査を行う。

- (1) 研究業績
- (2) 教育実績
- (3) 大学貢献
- (4) 地域貢献

(審査の期限)

第 7 条 資格審査委員会は、前条に規定する審査を当該転換希望教員の任期が満了となる日の原則として 6 箇月前の日までに終了し、転換審査結果報告書（様式第 4 号）により、人事委員会に報告しなければならない。

(転換の決定等)

第 8 条 人事委員会は、資格審査委員会の審査結果を審議し、転換の可否を決定する。

2 学長は、人事委員会の意見に基づいて理事長に意見具申し、理事長は転換の可否を決定し、速やかに当該転換希望教員に通知する。

(改廃)

第 9 条 この労働条件の変更に係る規程の改廃は、評議会及び理事会の議を経て理事長が行う。

(規程の周知)

第 10 条 この規程は、本学ホームページ等に掲載し、広く周知を図る。

附則

この規程は、2021 年 5 月 28 日から施行する。

附則

この規程は、2021 年 10 月 1 日から施行する。

附則

この規程は、2022 年 11 月 7 日から施行する。

別表第1 (法第4条第1項関係)

職 種	組 織	身 分	任 期	無期転換	法、学内規程
学部 任期 制教 員	法学部法学科	准教授 講 師 助 教	5年	無期転換 を希望す る場合、 審査を行 って任期 の定め のない雇 用への 転換の 可否を 決定す る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学教員任期法 第4条第1項各号 ・ 就業規則第23条 第2項 ・ 教職員給与規程
	経済学部経済学科	准教授 講 師 助 教	5年		
	経営学部経営学科	准教授 講 師 助 教	5年		
	経営学部商学科	准教授 講 師 助 教	5年		

(様式第 1 号)

同 意 書

年 月 日

学校法人吉備学園理事長 殿

(氏 名)

印

私は、岡山商科大学任期制教員に関する規程第 4 条に基づき、下記の任期により学校法人吉備学園岡山商科大学教員として任用されることに同意いたします。

記

年 月 日から 年 月 日までの 5 年間

(様式第2号)

任期の定めのない雇用への転換希望申出書

年 月 日

所 属 長 殿

所属・職
氏 名

印

私は、 年 月 日をもって任期満了となるにあたり、「岡山商科大学任期制教員に関する規程」第5条に基づき、転換希望の有無について申し出ます。

1 現在の任期	年 月 日 ~ 年 月 日 (5年)	
2 転換希望の有無	a. 転換を希望する b. 転換を希望しない (いずれかに○を付すこと。)	
3 転換を希望する理由等		
4 在職期間中における業績		
5 賞 罰	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
6 その他特記事項 (社会的活動等)		

注) 「4 在職期間中における業績」欄には、教育、研究及び担当業務等における業績の概略を記入し、「業績調書」(様式第3号)を添付すること。

(様式第3号)

業績調書

年 月 日

氏 名 印

氏名	漢字・原語	
	ローマ字	
生年月日		
性別		
所属	学部等	
	学科・研究科等	
職名		
出身	大学院・研究科等	
	学校・専攻等	
学位・称号		
資格・免許		
連絡先	住所	
	電話番号	
	FAX番号	
メールアドレス		
科学研究費研究者番号		
使用する外国語		
研究	経歴	
	職歴	
特許等		
受賞歴 (国内・国外の別)	学会賞等の各賞の受賞状況等	
所属学会		

1 研究業績に関する事項				
① 現在の研究課題	課 題 名			
	個人研究・共同研究の別			
	研究機関			
② 著書、発表論文等	単著 共著 の別	発行又は 発表年月	発行所、発表 雑誌又は発表 学会等の名称	概 要
	ア 著書 (翻訳を含む)			
	イ 論文(査読付 き) (著名、論文名、 雑誌名、巻号、 ページ、年)			
	ウ 国際会議論文			
	エ 解説・レビュー			
	オ 講演発表			
	カ 解説記事その他			
	③ 創作活動等 (発表、フィールド スタディ等)	活動期間又は発表年月		概 要
年 月～ 年 月				
④ 海外研究活動のた めの渡航回数	1週間未満		回	
	1週間以上		回	
⑤ 海外での学会への 出席回数及び発表 回数	経費の主たる負担者		出 席	発 表
			回	回

注) ⑤の経費の主たる負担者の欄は、主催者、外国機関、文部科学省、日本学術振興会、その他政府機関、所属学会等の機関、寄付金、自費、本学旅費等を記入すること。

2 教育実績に関する事項						
① 担当授業科目	担当授業科目	期 間	週担当時間数	専任	兼担	
	学 部					
	大学院					
学生	年 度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度
② 担当学生数	卒業論文					
	卒業研究					
	修士課程					
③ 学位を主指導した人数	修 士					
④ その他 (教育手法、教材の作成、改善等)						

3 大学貢献に関する事項					
① 全学及び学部の委員会等の活動	委員会等の名称		期 間		
② 競争的研究資金等の獲得状況	年 度	名称・助成団体等	本人配分額 (全体額)	課題研究名	代表、分担の別
③ その他					

4 地域貢献に関する事項				
① 教育活動（高大連携、 大学コンソーシアム関 連等を含む。）				
② 研究活動（学会、審査 員活動等を含む。）				
③ 地域社会活動（行政委 員会委員、地域団体と の連携等を含む。）、 国際活動				
④ 共同研究及 び受託研究 の実績	テ ー マ			
	依頼者等 金 額	千円	千円	千円
	研究期間	年 月 ～ 年 月	年 月 ～ 年 月	年 月 ～ 年 月
⑤ その他の学外における 社会貢献活動				

5 その他（教育と研究に対する抱負等）				

(様式第4号)

任期の定めのない雇用への転換審査結果報告書

年 月 日

人事委員会委員長 殿

資格審査委員会委員長

氏 名

印

転換希望教員の審査結果について、下記のとおり報告します。

記

所属・職名			
氏名・年齢	(歳)		
転換の可否	可・否	現在の任期	年 月 日～ 年 月 日 (5年)
		転換後の任期	年 月 日～
最終学歴			
学位・称号			
勤務状況			
各項目ごとの評価及びその理由			
(1) 研究業績			
(2) 教育実績			
(3) 大学貢献			
(4) 地域貢献			
総合評価及び再任の可否の理由			